

科目名 (科目番号)	神経系障害 理学療法治療学 (最下段に記載)	教員名	桐山希一 高尾敏文 山本竜也 林隆司	学科等	理学療法	必須	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				オフィスアワー		火～木	8:00～9:00 A308	
授業概要	神経系障害について、検査・測定から評価、さらに治療技術や手技まで実習を通じて学ぶ。主に脳血管障害、そしてパーキンソン病および関連疾患、脊髄小脳変性症を対象疾患とする。神経学的検査の方法から、姿勢反射やバランスの検査方法、臥位から座位、さらに立位や歩行の動作場面における機能改善のための治療、あるいは効果的な介助・誘導の方法を演習する。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	神経系障害の理学療法 アプローチの考え方	到達目標:神経系障害のアプローチ方法の概略を理解する。 学習目標:理学療法の対象となる症状について学ぶ。					
	2	意識障害に対する 評価と治療	到達目標:脳血管障害による意識障害、その評価と治療方法を理解する。 学習目標:JCS・GCSを含む意識障害の評価、脳循環不全と脳血流の評価について学ぶ。					
	3	脳神経検査	到達目標:脳神経症状を理解し検査ができる。 学習目標:脳神経検査を学ぶ。					
	4	筋緊張、分離運動	到達目標:連合反応や共同運動パターンを理解し、評価することができる。 学習目標:筋緊張の診かたと評価、Modified Ashworth Scale。正常運動および分離運動。					
	5	運動麻痺の評価 と治療の原則	到達目標:連合反応、共同運動パターン、分離運動の評価を理解する。 学習目標:Brunnstromの回復段階を用いた評価方法および治療法について学ぶ。					
	6	バランスの評価 と練習方法	到達目標:バランス能力について理解し、その評価方法について理解する。 学習目標:平衡機能、反射と反応の違い、座位～立位の各姿勢・動作におけるバランス検査とその記述方法、および練習方法について学ぶ。					
	7	脳血管障害の機能障害 に対する評価	到達目標:成人片麻痺患者に対する各種機能評価の方法を理解する。 学習目標:Fugl-Meyer assessment、SIAS、FR、TUGなどの評価指標について学ぶ。					
	8	脳血管障害の治療(急性期) の基礎、および歩行について	到達目標:脳血管障害患者の急性期理学療法について、また片麻痺歩行の特徴を理解する。 学習目標:片麻痺患者に対する接し方の基本、ポジショニングなど急性期の対応、肩関節亜脱臼や内反尖足などの合併症に対する方法、片麻痺歩行の評価と治療を学ぶ。					
	9	各治療場面の脳血管障害の 理学療法～臥位	到達目標:各治療場面における脳血管障害に対する治療方法、およびその目的を理解する。 学習目標:低筋緊張状態に対する滞空を用いた練習、姿勢反射を利用した寝返り動作を練習する。					
	10	各治療場面の脳血管障害の 理学療法～座位	到達目標:各治療場面における脳血管障害に対する治療方法、およびその目的を理解する。 学習目標:リーチ動作を用いた治療の意義、重心移動に伴うバランス反応の促進方法について学ぶ。					
	11	各治療場面の脳血管障害の 理学療法～立位	到達目標:各治療場面における脳血管障害に対する治療方法、およびその目的を理解する。 学習目標:立ち上がり動作の練習、膝や体幹に対する抗重力伸展活動、歩行に必要な機能を準備する練習方法について学ぶ。					
	12	パーキンソン症状および 運動失調に対する理学療法	学習目標:パーキンソン病および脊髄小脳変性症の症例に対する治療方法を理解する。 到達目標:神経発達のアプローチ、運動失調および協調性の障害に対する理学療法を学ぶ。					
	13	高次脳機能障害 の基本的知識(1)	到達目標:失語・失行・前頭葉障害に伴う行為/行動の障害の理解が目標となる。 学習目標:上記の高次脳機能障害についてについて学ぶ。					
	14	高次脳機能障害 の基本的知識(2)	到達目標:失認・注意障害・記憶障害・遂行機能障害の理解が目標となる。 学習目標:上記の高次脳機能障害についてについて学ぶ。					
15	高次脳機能障害 の基本的知識(3)	到達目標:高次脳機能障害評価に対する理解を深めることが目標となる。 学習目標:各種検査キットの体験を通して実際の高次脳機能障害評価について学ぶ。						
成績評価の 方法・基準	末筆記試験(50%)、実技試験(50%)の配分で評価します。本試験については各試験において30%以上を合格とします							
教科書	①神経障害理学療法学Ⅰ ②脳機能の基礎知識と神経症候ケース スタディ		鈴木俊明, 中山恭秀(編集) 沼田 憲治(編)			メジカルビュー社 メジカルビュー社		
参考図書	理学療法ハンドブック第一巻		細田多穂(他編)			共同医書出版		
教員からの メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は上記の順番の通りに行われるとは限りません。 ・みなさんの学習状況によって、授業の進行度合いや一部内容を変更することがあります。 ・授業のなかで学習して欲しいポイントについて確実に理解したかを確認するための問題集を配布しますから自習の際に利用してください。 科目番号 Aクラス:062193 Bクラス:062213							